

キラリ☆
かまだびと③

羽ばたけ二十歳! 輝く未来へ



鎌田地区
令和6年1月1日現在
総人口 20,013人
(前年比 -26)
世帯数 9,597戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

令和5年度は松本市で2,236人、うち鎌田地区では241人の皆さんが二十歳になり成人の日を迎えました。「キラリ☆かまだびと」では、二十歳になったお二人に思い出や将来の夢などをお聞きしました。

- Q 1. いま何をしていますか
- Q 2. 頑張っていること
- Q 3. 20年間で一番の思い出
- Q 4. 小学生~高校生で一番楽しかったこと
- Q 5. 尊敬する人
- Q 6. 将来の夢
- Q 7. 理想の大人像
- Q 8. 松本市内でお気に入りの場所
- Q 9. 最近関心があったニュース
- Q10. 家族へ一言



在学中に西アジアの発掘調査に参加したい

音楽に全力で没れる今を大切に、理想の教師像を探しています



よこやま
横山 ひなたさん(鎌田中学校出身)

かどの だいち
門野 大地さん(信明中学校出身)

- A 1. 新潟県の国公立大学で、教育と音楽について学んでいます。
- A 2. 吹奏楽団と軽音学部を兼部し、全力で音楽を楽しんでいます。
- A 3. 吹奏楽部の大会。仲間と全力で打ち込んだ時間がとても楽しかったです。
- A 4. 高校の修学旅行です。コロナ禍での変更も多い中、仲間と協力して楽しめました。
- A 5. 高校3年生の時の担任の先生です。とても深い考えを持っている方でした。
- A 6. 中学校の音楽の先生です。音楽の魅力を伝えられる先生になりたいです。
- A 7. どんなことにも前向きに挑戦できる、タフな大人になりたいです。
- A 8. あがたの森公園
- A 9. 阪神タイガースが38年ぶりに日本一になったというニュースが印象的でした。以前よく野球を見ていたので、懐かしくなりました。
- A10. 大学に来て色々な人に「大切に育てられたんだね」と言われます。今までありがとう。これからもよろしく。

- A 1. 筑波大学で考古学を専攻しています。授業では古墳の発掘や測量、遺物の実測、演習での発表などを行っています。
- A 2. 専攻の勉強と部活を両立できるよう日々励んでいます。
- A 3. 青春18切符を使って旅行したこと。晩ご飯のステーキがおいしかったです。
- A 4. 高校の部活動。練習はつらかったけどいい経験になりました。
- A 5. 大学の部活の先輩・同期・後輩。自分の研究を疎かにせず、部活も全力で取り組んでいてとても尊敬しています。
- A 6. 手近な夢だと、外国に行ってみたいです。
- A 7. 常に平常心でいられる大人。
- A 8. 四柱神社
- A 9. 吉野ヶ里遺跡の発掘調査
- A10. 今後も甘えさせていただくと思いますがよろしくお願いいいたします。



20年前はこんな出来事があった年でした

- 2003年 3月 SMAPが35枚目のシングル「世界に一つだけの花」をリリース
- 「千と千尋の神隠し」が第75回アカデミー賞・長編アニメ賞を受賞
- 4月 六本木ヒルズが開業
- 12月 地上デジタルテレビ放送が東京、大阪、名古屋でスタート
- 2004年 2月 米国発のSNS・Facebookが運用開始

◆20年前の2004年
松本市の人口… 208,904人
現在 235,475人
鎌田地区の人口… 18,067人
現在 20,013人

アーチ式ダムの内部で学び

防災について学ぶ鎌田地区町内公民館長会が主催する視察研修会が、11月14日に行われました。見学地は伊那谷にある小洪ダムで、16人が参加しました。

最初に、係の方から小洪ダムの歴史と現状についての説明を受けた後、いよいよダム



下からアーチ式ダムを見上げると...

の中に入ります。高さ105m、アーチ式のダムの中にはエレベーターや階段、通路があり、日々保守点検がされていることを知りました。長いワイヤーが吊るされた観測装置は、ダムの形の変位を調べるもので、太陽の熱などの影響で厚いダムの壁も、日によって1mm変形をくり返すとのこと。それは、巨大な生物の鼓動のようでした。

ダムは完成した後も、流入する土砂や流木からダムを守るために、多くの人が働いていました。急な階段を何度も上り下りして足がガクガクになりながら、災害の中で生きてきた人々、防災に使命をもつ人々に思いをはせた1日でした。

編みぐるみ講座

十二支ひと廻り

12月5日、12日に鎌田地区福祉ひろばで干支の編みぐるみ講座が開催されました。丸山宏子先生の指導で、かぎ針で細編みし、令和6年の干支である「辰」を作りました。

同じ毛糸やキットを使っても、それぞれの編み具合で表情が変わるのが面白いです。今回の「辰」で十二支すべてが揃いました。



知りたい! 地域のあれこれ ⑤

にぎやか!! オレンジカフェはまだ

12月1日、鎌田地区公民館で今年度4回目の「オレンジカフェはまだ」が開かれました。このカフェには認知症の方やご家族、地域の皆さん、介護や福祉の専門家が集まり、共に学び、楽しい時間を一緒に過ごすことで元気になれます。ボランティアの皆さんが中心になって、新しい出会いやつながりが生まれることを願い、企画運営をしています。

今回は、地区内薬局の薬剤師さんによる「飲み忘れを防ぐお薬講座」で学び、地区の方が所属するバンド「JJB MSKITO BAND」の演奏に合わせて歌い、楽しい時間を共に過ごすことができました。



甘い歌声、響くサウンド

次回は3月1日午後1時半から、井川城中区公民館で開催されます。お気軽にご参加ください。(お問い合わせは鎌田地区公民館まで)

鎌田小学校のクラブ活動 いつもと違う体験を!

鎌田小学校では、11月から全4回のクラブ活動が行われました。料理や、茶道、ニュースポーツ、ものづくりなど種類はさまざまです。外部講師による講座は、鎌田地区公民館に関わりのあるサークルや団体の皆さんなどが講師を務めています。

茶道クラブでは、講師が点てたお茶をいただき、その様子をまねて児童たちがお茶を



お点前いかが

点てました。初めて体験する子も、講師の熱心な指導により上手に点てられるようになっていきました。どの回も楽しんで学ぶ姿が印象的でした。

小さい頃の正月は期待に満ちていた。青年期からは一瞬の非日常に自分をおく気がしていた。そして、今、正月は妙になつかしい気持ちになる▼先日、柳田国男の『先祖の話』を読み返した。「もとは正月も盆と同じように、家へ先祖の霊の戻って来る嬉しい再会の日であった」と書かれていた。また「今ならば早く立派な人になれとでも言う代わりに、精出して学問をしてご先祖になりなさいと、少しも不吉な感じはなしに、言つて聞かせたものであった」「日本では霊は、遠くにはなく家や国土にとどまり、隠り身となつて家や国土を守るものと信じられてきた」とあった▼祖先の霊が田や山の神(年神様)になり、子孫の繁栄を見守るとも考えられ、その年神様を祀るのも正月の風習である▼正月への妙ななつかしさは、私が間もなく先祖になる年齢になってきたことと、それを意識するようになったからなのかもしれない▼元日の地震災害をみて、この正月は、私の「いのち」の来し方行く先を考え、命(靈魂)のつながりについて思いを寄せてみた。(鎌倉弘行)

雑感